

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立 玉城 青少年の家	対象年度	令和5年度
------	---------------	------	-------

【 目 次 】

I	履行確認		
	1 維持管理業務	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 清掃		
	(2) 保守・点検		
	(3) 保安・警備		
	(4) 小規模修繕		
	(5) 備品購入		
	(6) 防犯・防災対策		
	(7) 料金徴収業務		
	2 運営業務	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	(1) 利用実績		
	1) 利用者数等		
	2) 施設稼働率		
	(2) 受付・接客		
	(3) 広報		
	(4) 情報管理		
	(5) 職員研修の実施		
	3 主催事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	4 自主事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
II	サービスの質の評価	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	1 受入事業		
	2 主催・自主事業		
III	サービスの安定性評価（財務状況）	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	1 事業収支		
	(1) 収入		
	(2) 支出		
	2 経営分析指標		
IV	総合評価	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
	1 目標		
	2 評価結果		
附表	経営状況分析シート	・・・・・・・・・・・・・・・・	17

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立玉城青少年の家	対象年度	令和5年度
指定管理者	沖縄じんぶん考房 指定期間: 令和5年4月～令和6年3月	所管課	教育庁 生涯学習振興課

I 履行確認

1 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	○		利用の都度、利用団体による清掃。 職員による日常清掃。	・日常衛生点検簿	適正	専用の点検簿を作成し、毎日清掃等が行われている。 今後とも職員による巡回等も含め、環境美化に努めていただきたい。
〈定期清掃〉	○		担当職員が分担ごとに点検、清掃を実施。委託業者により、ごみ回収を週3回、貯水槽清掃を年1回実施。利用者退所後、宿泊室の消毒を実施(次亜塩素酸水噴霧及び手拭き)。	報告書等書類確認 現地確認	適正	適切に実施されている。 今後とも施設の利用状況等を勘案の上、環境美化の実施に努めていただきたい。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設職員による点検	○		1日と15日に施設管理係を中心に施設全体の定期安全点検を行っている(建物内の照明設備、空調機器、草刈り等)。	・安全点検簿(1日・15日)	適正	安全点検簿を作成し、ヒヤリハット事例を共有できる仕組みをつくっており、適切に実施されていると思われる。今後とも継続し、安全かつ良好な施設環境の維持に努めていただきたい。
電気設備点検		○	専門業者と委託契約締結 2ヶ月毎:1回実施。 (4/11、6/15、8/22、9/12、10/17、11/16、12/6、R6.1/22、2/19、3/5)年次点検:1回(10/17)	・委託契約書 ・点検結果報告書	適正	適切に実施されている。改築直後である為、設備の状態も良好である。
消防設備保守点検		○	専門業者と委託契約締結 年1回実施。 機器点検:6/12 総合点検:6/12	・委託契約書 ・消防用設備等点検結果報告書	適正	適切に実施されている。改築直後である為、設備の状態も良好である。
簡易水道設備点検	○	○	職員により容量を確認し、消毒用塩素を補充(不定期)。 専門業者と委託契約締結。 年1回(R6/2/14、2/16)	・委託契約書、 ・報告書	適正	適切に実施されている。改築直後である為、設備の状態も良好である。
浄化槽設備点検		○	専門業者と委託契約締結。 月2回実施。 (4/7、4/19、5/11、5/30、6/12、6/26、7/10、7/24、8/7、8/21、9/12、9/25、10/12、10/24、11/7、11/28、12/13、12/25、R6/1/9、1/22、2/15、2/27、3/11、3/27)	・委託契約書 ・浄化槽委検査結果書(法7条)	適正	適切に実施されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。

ボイラー設備保守点検		○	専門業者と委託契約締結。 年1回実施。 (6/12)	・委託契約書 ・報告書	適正	適切に実施されている。12月より新館に引っ越し、ガスに切り替わった為、今回が最後の点検となる。
昇降機設備保守点検		○	新館に移転後、1回実施	・委託契約書 ・点検結果報告書	適正	12月より新館に引っ越し、適切に実施されている(設置後1年間は無償点検)。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。
衛生保守管理業務 (害虫防除業務)		○	専門業者と委託契約締結。 ゴキブリ等の小型害虫駆除、旧館1回、新館1回実施	・契約書 ・衛生管理業務実施報告書	適正	適切に実施されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。
貯水槽清掃		○	専門業者と委託契約。新館のみ年1回実施。	・契約書 ・作業完了報告書	適正	適切に実施されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば所管課と調整のうえ、適切に対処すること。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備	①	②	①監視カメラによる常時監視 ②警備業者と委託契約締結。 毎日17:15～8:30迄1名の常駐警備。	・契約書 ・警備日報等	適正	取り壊し工事前の旧館棟周辺の巡回も毎日行っていたとのこと。新館完成後も解体工事等が続く為、工事業者とも連携しながら安全管理に努めていただきたい。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施	①	②	①旧館プレホールの照明代替品の取付 ②旧館W4エアコン故障による代替品の設置(リース品の工事)	請求書等、書類確認、及び現物確認	適正	適切に実施されている。旧館においては、業者と調整・交渉の上、利用者に不便が及ばないように必要な修繕対応を行っていた。新館においても、工事後の初期不良などに所管課や業者にこまめに連絡しながら対応している。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 一円	○		実績なし	—	—	—

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
消防訓練	○		年2回実施 ① 6/26届出 7/12実施 ②11/10届出 11/27実施	・自衛消防訓練実施届 ・報告書	適正	適切に実施されており、終了後の振り返りも所内で共有されている。今後とも法令に基づく訓練を確実に実施いただきたい。
避難訓練	○		年2回実施 ① 6/26届出 7/12実施 ②11/10届出 11/27実施	同上	同上	同上

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料徴収	○		令和5年度 徴収実績 973千 円 料金徴収フロー図に 基づき徴収	領収書等、関係書 類	適正	適切に実施されている。今後とも 所内ルールに基づき、現金管理 の厳正に努めること。
実費負担等徴収	○		令和5年度 徴収実績 1,500千 円 料金徴収フロー図に 基づき徴収	領収書等、関係書 類	適正	適切に実施されている。今後とも 所内ルールに基づき、現金管理 の厳正に努めること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記載すること。

1 維持管理業務 取組改善案	<p>令和5年度は、8月31日まで旧館で通常業務を行い、巡回の実施し、不衛生力所や湿気によるカビ対策等の発見に重点を置き、稼働が少ない空調機やボイラー、照明の点灯試験等を行いながら、不備のない施設状態の維持に努めた。また、不定期であるが次亜塩素酸水を用いたトイレ清掃やアルコールによる机等のふき取り清掃を実施し感染症の防止にも努める等し、8月31日に旧館での43年間にわたる宿泊や事業運営を終了することができた。</p> <p>9月1日～11月30日までは、休所とし引っ越し準備にあたった。引っ越し作業は、新館に移行する備品の整理や廃棄処分する物品の処理、そして新しく購入する物品の検討などについて所管課と調整を行いながら多岐にわたる対応を行った。</p> <p>12月1日より、新館の運営を開始したが、3か月間の休所の影響でスライドした宿泊者が、12月から2月までに集中し連日切れ目なく利用される状況だった。その間、テントサイトの工事などが続き、工事車両が行きかう中、学校などの活動が行われる状況にあり、子どもたちなどの利用者の安全の確保に最大限注力し、工事業者の協力もあり、無事故で乗り切ることができた。</p> <p>令和6年度も、東門の工事や旧館解体工事が続く状況にあり、利用者が安心かつ快適に利用できるよう、引き続き、所管課との密な連絡調整に努めるとともに、工事業者との連携協力を図り、安全第一に運営していただきたい。</p> <p>また、工事終了後の初期不良箇所等も多く出ている為、早期発見・対応を行う等、維持管理を適切に実施していただきたい。</p>					
-------------------	--	--	--	--	--	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和6年度)の主な取り組み改善案を記載すること。

2 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	令和4年度 実績	事業計画 (目標値)	令和5年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
利用者延べ数	13,834人	34,997人	14,997人	108%	43%	改築工事に伴う3ヶ月の受入停止の影響で目標値は達成できなかったが、12月から新館での業務が開始され、年度後半にかけて利用者が増加した。 なお、新館移転に伴う休所期間中に予約のあった団体については、予め移転後での日程変更を行っていたため、受入れについては円滑に対応出来たことである。 施設利用については、体育館が新設されたことにより、部活動で利用する団体が増えており、今後のスポーツ利用での増加が予想される。
(利用者内訳)						
学校教育	3,894人	-	4,806人	123%	-	
社会教育	2,208人	-	1,858人	84%	-	
その他	7,732人	-	8,092人	105%	-	
(参考1)施設ごとの内訳	20,817人	-	24,464人	118%	-	
宿泊室	1,416人	-	3,582人	253%	-	
研修室	4,005人	-	3,842人	96%	-	
体育館(プレイホール)	4,763人	-	6,051人	127%	-	
キャンプ場	0人	-	0人	#DIV/0!	-	
その他	10,633人	-	10,989人	103%	-	
(参考2)利用者実数	12,250人	-	10,958人	89%	-	
(参考3)利用団体数	1,071団体	-	801団体	75%	-	

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

評価(①利用状況)

C

2) 施設稼働率

	令和4年度 実績	事業計画 (目標値)	令和5年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
開所日数	354日	306日	278日	79%	91%	令和5年度は、新館移転に伴う閉所(9月~11月)があったため施設稼働率が低下した。次年度からは利用者の増が見込まれる為、希望にできるだけ応えられるよう職員配置を調整し、施設稼働率の向上に努めていただきたい。
利用日数	328日	306日	266日	81%	87%	
利用率	93%	100%	96%	103%	96%	

(2) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
全職員が対応可能な体制の構築	○		業務日誌、不定期の所内会議を実施し、情報共有を行っている。毎日の朝礼では、執務心得の唱和を欠かさず、各自の業務予定や担当業務の進捗を発表している。	・業務日誌	適正	必要に応じて、所内会議を実施し、情報共有を図る等、適切に実施されている。

(3) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HP、新聞、館内掲示や配布物による事業等のアピールを実施	○		主催・自主事業の開催案内や参加者募集について、SNS利用、ホームページ、NHKテレビ、ラジオ沖縄、新聞、新聞副読紙への投稿、作成ポスターの館内掲示、関係機関への広報依頼、生涯学習センター「おきなわ県民カレッジ学習メニューブック」への掲載、事業開催時の閉会式での案内を実施している。	・聞き取り	適正	SNSも利用する等、適切に実施されていると思われる。新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化等も考慮し、事業内容が閲覧者に伝わるようWebメディアの有効活用を進めていただきたい。

(4) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報等の適切な管理を実施する		○	1.個人情報管理取扱いは規則に則り対応している。 2.朝礼等で、不定期に注意喚起を図っている。 3.個人情報に係る廃棄書類のシュレッダーによる破砕の徹底を図っている。	・個人情報管理 運営規則	適正	取り扱いが規定化される等、適切に実施されていると思われる。今後も、所内研修の定期的な実施等により全職員の意識の持続、向上に努め個人情報の適切な権利を徹底していただきたい。

(5) 職員研修の実施

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
業務仕様書に基づく職員研修の実施		○	キャンプインストラクター養成講習(6月)、社会教育主事講習(1月)	・復命書	適正	施設の受入れプログラムの質向上を目指し、精力的に研修を実施している。また、社会教育の振興へ寄与するため社会教育主事資格についても、取得を進めている。これら育成した人材が定着できるよう、待遇面、運営面等の改善を進めていただきたい。

3 主催事業

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
子どもあそび祭り in 玉城 ～障がいがある人もない人も一緒に楽しめる子どもの遊びまつり	○		5月5日	一般、子ども連れの家族	150	576	384%	レクリエーション協会と共催し、多種多様なあそびを提供することで、計画を大きく上回る参加実績につながっている。
青少年の家プログラムサポート実習①入門編&実践編	○		5月13日	施設利用団体引率者 教員志望者、学校職員等、一般	60	8	13%	開催時期を検討する必要がある。(学校向け職員は夏休み期間等)
土曜日は玉城で運動遊び～ストリートワークアウト 沖縄に学ぶ身体づくり～	○		共催先との日程調整不可のため中止	学童クラブ 4団体	4	-	-	講師との日程調整がつかず中止となる。
初心者陶芸教室～親子で土に触れて作品をつくらう	○		6月24日	5歳以上の家族	40	43	108%	初心者にも分かりやすいように、講師の手元をスクリーンに投影する等、参加者への丁寧な対応に努めている。

スターウォッチング入門	○		7月21日	家族、引率できる大人がいる小学生グループ	15	15	100%	星空入門として、スマートフォンアプリの紹介やPCフリーソフトの紹介、望遠鏡操作体験などパッケージ化し、天候に左右されないプログラムとなっている。
野生生物の魅力と人との関りを探る ～大切にしたい自然って何だろう？	○		7月29日	小学生以上	20	12	60%	プログラムの内容に沿った参加対象者に絞って周知する等の工夫が必要である。
青少年の家プログラムサポート実習② ～入門編&実践編	○		12月2日	施設利用団体引率者、教員志望者、学校職員等、一般	60	22	37%	開催時期を検討する必要がある。(学校向け職員は夏休み期間等)
星空の魅力発見～玉城で星空観察	○		12月15日～16日	小学生のいる家族等の小グループ	30	24	80%	ほしぞら公民館の職員やプラネタリウム技師と連携し、専門性を取り入れた事業となっている。
スターウォッチング入門	○		1月19日	引率できる大人がいる小学生グループ、家族	15	16	107%	星空入門として、スマートフォンアプリの紹介やPCフリーソフトの紹介、望遠鏡操作体験などをパッケージ化し、天候に左右されないプログラムとなっている。
南城市de歴史散歩～船越集落区民編	○		1月28日	小学生以上、一般	20	20	100%	南城市教育委員会と連携した事業である。歴史散歩は毎回高倍率の抽選となる。人的協力と講師の専門的な説明により参加者を満足させる事業となっている。
南城市de歴史散歩～船越集落県民編	○		2月25日	小学生以上、一般	20	25	125%	南城市教育委員会と連携した事業である。歴史散歩は毎回高倍率の抽選となる。人的協力と講師の専門的な説明により参加者を満足させる事業となっている。
計					434	761	175%	実施11事業、中止1事業

4 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
家族で自然教室に挑戦だ！～移転前に玉チャレで思い出づくり	○		4月29日～30日	家族等の小グループ	25	42	168%	計画を上回る参加実績である。普段は学校や団体が利用する宿泊やプログラム体験を、家庭へ提供するよい機会となっている。
チャレンジする気持ちを体感するアクティビティ！～チームワークゲームを学ぶはじめの一步	○		5月20日	学校、学童クラブの職員、教師を目指す方、子どもに関わる活動等に携わる方	20	7	35%	講師育成を念頭に事業を計画している。講師の数を増やし利用者へ提供できるような仕組み作りをはじめている。参加人数を増やす工夫が必要である。
こどもの遊びづくり隊～グループレクリエーションサポーター研修	○		5月30日	学童クラブ指導員	30	15	50%	学童職員向けのプログラムで、事業の幅を広げる取り組みとなっている。
出張！ミツバチ教室&はちみつ収穫体験	○		7月15日	5歳以上の子どもがいる家族	20	25	125%	業者と連携し、道具を青少年施設内に持ち込んで、普段は体験できないことを体験できるプログラムとなっている。
子どもが主役の海遊び～シーカヤック体験とビーチコーミング	○		7月22日	小学生を含む家族	32	18	56%	南城市教育委員会と連携し、市から補助を受けての事業となっている。
暗闇でフィールドゲーム マジムンナイト	○		8月5日	5歳以上の子どもがいる家族	20	0	0%	台風6号の接近に伴い中止となる。

キャンプという名の防災訓練 ～キミは48時間を生き抜くことができて～	○		8月11日～13日	小学4年生～ 中学3年生	25	24	96%	南城市教育委員会と連携し、2泊3日の実施。体験活動の中に防災訓練を取り入れプログラムを工夫している。
仲村渠の稲作を学ぶ① ～稲作発祥の地で田植え体験	○		8月27日	稲作体験に興味がある家族	20	19	95%	地域の稲作会と連携し、地域の活性化及び、田植え体験を通して食の大切さを学ぶ機会となっている。
学びつなげる地域づくりを考える～オンライン事例発表セミナー①	○		9月30日	地域づくり、社会教育活動に関心のある方	25	40	160%	社会教育の進展を推進し、先進的な取り組みを発信している繁多川公民館と共催が実現したことで、情報交換や職員交流、協働活動など、広がりが生まれている。
仲村渠の稲作を学ぶ② ～稲作発祥の地で収穫体験	○		11月26日	稲作体験に興味がある家族	20	24	120%	地域の稲作会と連携し、地域の活性化及び、収穫体験を通して食の大切さを学ぶ機会となっている。
PAワークショップ@沖縄	○		1月20日	1月0日	20	17	85%	子どもと関わる職種又は体験活動に関心のある方を対象に実施。専門講師を招き、指導者の育成に繋がる事業となっている。
学びつなげる地域づくりを考える～オンライン事例発表セミナー	○		3月16日	地域づくり、社会教育活動に関心のある方	25	38	152%	ハイブリッド形式(参集・オンライン)を取り入れた際は、意見交流の時間が十分とれるように時間配分の工夫が必要である。
たまぐすくロゲイニング ～知力！体力！チーム力！で 高得点を目指せ！	○		3月20日	小学生以上の子どもがいる家族又は友人知人2～5名で1グループ	30	31	103%	参加者のニーズに応じてプログラムを作成したことにより、参加者の満足度が高い事業となっている。
計					312	300	96%	実施11事業、中止1事業

5 共催事業等

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
「遊びリンピックin 沖縄2023」		○	10月28日	子ども	200	147	74%	本事業は「体験の風をおこそう運動推進事業」として、各青少年の家や関連団体がプログラムを提供している。多数の参加者に提供できるプログラムの開発が必要である。
計					200	147	74%	実施1事業、中止0事業

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載し、変更した場合は変更後の内容も記載すること。
(中止した事業についても、事業名を記載し、現状分析・課題欄に中止の理由を記入してください。)

※「現状分析・課題」欄は具体的に記載すること。

2 運営業務 3 主催事業 4 自主事業 5 共催事業等 取組改善案	<p>社会教育施設として、子ども向けだけではなく、一般向け、指導者向けの事業をバランスよく実施している。募集にあたっては、SNSを活用する等広報面でも工夫がされている。また、地元の南城市と連携した事業等も定着しつつあり、地域密着の施設として実績も積み重ねてきており、これらの取組は次年度以降も継続を期待する。</p> <p>職員研修において、社会教育主事資格の取得に向けて積極的に取り組んでいることも評価できる。</p> <p>今後も、旧館の解体や多目的広場の工事などが続き、施設面での制約が続くが、令和5年度に新に整備された炊飯棟や研修棟を活用した新たな事業展開も期待したい。</p>
--	---

※各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和6年度)の主な取り組み改善案を記載すること。

II サービスの質の評価

アンケート実施方法		宿泊及び日帰りの入所団体へ利用者アンケート(団体代表者用)の配布と回収			アンケート内容	評価項目のとおり	
1 受入事業							
評価項目		第三者(利用者等)評価			指定管理者自己評価	現状分析・課題	
		令和4年度評価		R5年度目標			令和5年度評価
維持管理業務	研修で利用する施設・設備・用具について	〈満足度〉 99% ・とても良い 74% (119票) ・良い 25% (41票) ・悪い 1% (1票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 99% ・とても良い 83% (133票) ・良い 17% (27票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 1% (1票)	S	・3~8月までの旧館利用での意見と、12~3月までの新館利用での意見の両方が混同されているため、数字ではわかりにくい部分はあるが、新館へ転移してからは、新築効果もあり、施設全般的に満足度は高く、気持ちよく過ごすことができるようになったと思われる。 ・施設と設備の老朽化による改善困難な箇所への同じような苦情に悩まされることが無くなった。快適な設備が整っている施設として、利用者に選ばれ、評価に繋がっていくと期待している。	旧館時は、古い施設をカバーするため、日々の安全点検と清掃にかなりの労力を要していたが、その部分は改善されており、満足度も向上している模様。 新施設に即した運用方法を把握する為、構造や動線、清掃方法、光熱費対応などの課題に対して、利用者の意見等も参考に、改善や対策を検討いただきたい。
維持管理業務	宿泊で利用する施設・設備・用具について	〈満足度〉 98% ・とても良い 55% (23票) ・良い 43% (18票) ・悪い 2% (1票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 97% ・とても良い 77% (55票) ・良い 20% (14票) ・悪い 3% (2票) ・とても悪い 0% (0票)	S	・施設、設備について、概ね使い勝手が良く、快適という意見が聞かれ、昨年度に比べ、「とても良い」が55%から77%へ上がった。 ・以前までと比べ、宿泊研修棟と炊飯棟が近くなったことで、移動や活動が便利になったことは、利用者にとって喜ばしいことであり、管理側にとっても目が行き届きやすく、良い環境になったと思われる。 ・寝具に対する意見が数件出てきている。利用者はホテル並みに快適さを求めているのかもしれない。	新館の宿泊・研修棟は密閉型建築となっているため、気温や湿度の変化に対しての対応が従来と大きく異なる他、特に湿度の多い立地でもある為、利用結露やカビ対策に注力せざるを得ない状況にある為、ここ数年の重点対応事項として改善に取り組んでいただきたい。
維持管理業務	浴室・トイレの施設・設備について	〈満足度〉 96% ・とても良い 57% (79票) ・良い 39% (54票) ・悪い 4% (6票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 99% ・とても良い 73% (101票) ・良い 26% (36票) ・悪い 1% (1票) ・とても悪い 0% (0票)	S	・旧館時は、洋式トイレが少なく、和式トイレが多かったため、利用者から多数の改善要求意見をいただき評価を下げていたが、新館は全て洋式トイレになり、大きく進展した結果、評価も上がっている。 ・シャワー室も近年の子供達や学校の希望するスタイルに合った個別区切りシャワーになったので、打合せ下見時や使用時に喜ばれている。 ・リアフリートイレも設備面は充実していて、利用者から安心、快適の意見をいただいているので、アピールしていきたい。	新館完成に伴い、利用者にとって、重要な要素であるトイレや浴場の快適さが大幅に向上している。 また、トイレが乾式となり、清掃や管理がしやすくなったが、反面、清掃活動の必要人員が少数になり、学生向けの清掃学習的な要素が減っている為、分担や協力や細かい気づきなどができるような、対応を検討していただきたい。

評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和4年度評価		R5年度 目標	令和5年度評価			
維持管理業務	食堂の施設・設備について	〈満足度〉 100% ・とても良い 48% (15票) ・良い 52% (16票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 100% ・とても良い 74% (46票) ・良い 26% (16票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	S	<p>・利用者意見は、概ね良好で、「とても良い」評価も昨年度よりアップしている。</p> <p>・以前に比べて、新館食堂は机イスが機能的になり、採光がとても明るくなったことで、気持ちよく食事時間を過ごせるようになったと思われる。</p> <p>・食堂入口に手洗い場が2つしかないの、大きい団体には、別の場所で手洗いをすませるよう声掛けをして、スムーズに不快なく過ごしてもらうよう心がけている。</p>	<p>新館完成に伴い、食堂の施設・設備面も利便性や快適性が大きく増しており、満足度も向上していると思われる。</p> <p>新設備にあわせた運用について、食堂事業者とも連携しながら対応を検討していただきたい。</p>
運営業務	食堂の提供するメニューについて	〈満足度〉 100% ・とても良い 59% (17票) ・良い 41% (12票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 100% ・とても良い 80% (48票) ・良い 20% (12票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	S	<p>・概ね良好で、評価も上々である。</p> <p>・メニューや栄養に対して、良く工夫されていることが、評価に繋がっていると思われる。</p>	<p>メニューについての利用者満足は非常に高い。アレルギー対応についても、食堂任せにはせず、職員で対応するようにしながらも、学校も関与する形でやりとりをする等、安全管理と情報共有をしながら、かつ責任の所在を明確にする取組がされている。今後も継続を期待したい。</p>
運営業務	施設が提供する活動プログラムについて	〈満足度〉 100% ・とても良い 68% (39票) ・良い 32% (18票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 98% ・とても良い 78% (50票) ・良い 20% (13票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 2% (1票)	S	<p>・一昨年からプログラムを充実させたことで、利用団体の活動選択が増え、雨天時対策としても効果をあげている状態が続いているため、評価は高い。</p> <p>・プログラムが目的で予約をしてくれる団体も多くなってきている。今後は体育館でのスポーツ活動も人気が出てきていることから、施設での活動の幅は広がっていくと思われる。</p>	<p>改築工事による活動場所の制限があり、人気があった「フィールドビンゴ」も廃止となり、惜しむ声も多かったとのことだが、中学生が発案した地元キャラクターを活用した「なんじいビンゴ」を導入する等、地域と関わりを持つ形で展開がされている。</p> <p>今後も、工事で変更となる環境に合わせたプログラム開発に努めていただきたい。</p>

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	令和4年度評価	R5年度 目標	令和5年度評価		
運 営 業 務	電話や窓 口での対 応、プロ グラムの 指導につ いて	〈満足度〉 100% ・とても良い 91% (121票) ・良い 9% (12票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90% ・とても良い 90% (122票) ・良い 10% (14票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	S	・令和5年度も、親切、丁寧、迅速を心掛けて、良いコミュニケーションがとれたことが、高評価に繋がったと思われる。 ・回答中、「とても良い」が占める割合が高く、職員の対応は、利用者から、高評価を得ていると思われる。 ・新館移転後、問い合わせや利用も増加が予想されるため、今後も、常に職員のスキルアップに努め、利用者目線の対応を続けていきたい。
運 営 業 務	施設の利 用料金に ついて	〈満足度〉 100% ・とても良い 80% (88票) ・良い 20% (22票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90% ・とても良い 82% (106票) ・良い 18% (23票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	S	・概ね良い評価となっており、利用者満足度は高い。 ・令和5年12月新館移転に伴い、利用料金の改訂が承認され、条例第14条2に定める範囲内の上限額に設定することになったが、その件についての苦言等は今のところ一切ないので、利用者にとっても納得の範囲内と思われる。 ・利用料金についての満足度は高い。反面、受益者負担の観点から利用料金についての妥当性について検討する必要がある。
運 営 業 務	食事料金 について	〈満足度〉 100% ・とても良い 53% (17票) ・良い 47% (15票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90% ・とても良い 63% (37票) ・良い 37% (22票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	S	・食材の高騰などでやむを得ず、前回に引き続き、令和5年12月にも、料金を改定したが、利用者には概ね納得していただいているようだ。 ・価格について、利用者からは厳しい意見も少々あった。 ・物価高騰を受けた料金改定を令和5年12月に行ったが、概ね受け入れられているものと思われる。 ・今後も、食堂事業者と連携しながら、利用者の意見も参考にし、対応を検討していきたい。

※ 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(4段階評価の場合上位2段の割合)により算定するものとする。

※ 「現状分析・課題」欄は具体的に記載すること。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

II サービスの質の評価

2 主催・自主事業

評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和4年度評価		R5年度 目標	令和5年度評価			
運営業務 (主催・自主事業)	事前の広報について	〈満足度〉 97% ・とても良い 45% (133票) ・良い 52% (153票) ・悪い 3% (8票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 98% ・とても良い 46% (146票) ・良い 52% (165票) ・悪い 2% (7票) ・とても悪い 0% (0票)	S	・「とても良い」「良い」を合わせると98%。 ・広報は前年度に引き続き、メディア媒体への掲載や教育事務所への投函、学童へのチラシ配布を行った。 また今年度からホームページへの掲載、SNSの活用を促進し、さらに生涯学習振興課や市町村役場へ広報協力を依頼したことで、事業の応募者数が増加した。 広報の工夫については成果がでている。	利用者の満足度は高い。 ホームページ以外に、LINEやInstagramといったSNSの活用、行政への協力等、利用者が増えるための広報の工夫に努めている。 しかし、専門分野の研修会や交流会の、興味ある方への広報については課題があるとのことであるため、広報先の新規開拓や需要先の調査等の対応を検討いただきたい。
運営業務 (主催・自主事業)	電話や窓口の対応について	〈満足度〉 100% ・とても良い 64% (154票) ・良い 36% (85票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 100% ・とても良い 70% (221票) ・良い 30% (93票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	S	・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・各事業とも、全体的な面で参加者から高い評価を得られた。 ・これまで当所では、参加者受付後、抽選を行い、当選連絡時に、受付時間や持ち物、来所時の駐車場など開催要項の内容を丁寧に説明している。このことが、高評価につながったと考えられる。	利用者の満足度は高い。 これまで電話による受付を中心に行っていたが、一部の事業はネット(peatixやGoogleフォーム)での受付を開始している等、多様な受付方法を展開することで新たな利用者層の拡充に繋がってくるのが期待される。
運営業務 (主催・自主事業)	事業の内容について	〈満足度〉 99% ・とても良い 47% (187票) ・良い 52% (203票) ・悪い 1% (4票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 100% ・とても良い 81% (267票) ・良い 19% (62票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	S	・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・各事業とも、全体的な面で参加者から高い評価を得られた。 今年度は、コロナの制限が明け、これまで中止していた事業を実施することができた。コロナ禍を経て、野外での活動が実施できる一方、野外での安全管理など連携団体と共有し、事故のないように事業を展開していきたい。	利用者の満足度は高い。 利用者のニーズを考え、南城市や関係団体とも積極的に連携を図り、様々な事業展開に取り組んでいる。
運営業務 (主催・自主事業)	講師の進め方について	〈満足度〉 100% ・とても良い 75% (183票) ・良い 25% (62票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 95% ・とても良い 27% (10票) ・良い 68% (25票) ・悪い 3% (1票) ・とても悪い 3% (1票)	S	・「とても良い」「良い」を合わせると95%。 ・各事業とも参加者から高い評価を得ている。外部講師だけでなく、職員が講師をする場合もあるが、事前に目的や内容、進行手順をしっかり詰めていることから、趣旨のずれない事業展開がでている。	利用者の満足度は高い。 外部講師に頼る事業だけでなく、連携して運営を分担する手法を積極的に取り入れている。 また、職員が研修で学んだ成果を反映させた事業が徐々に増えつつある。

評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	令和4年度評価		R5年度 目標	令和5年度評価		
運営業務 (主催・自主事業)	参加費について	〈満足度〉 100%	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 100%	S	・「とても良い」「良い」を合わせると100%。 ・自主・主催事業共に、リーズナブルな価格設定を行い、より多くの様々な方々が参加できるよう努めている。さらに、手厚い職員対応を心掛けることで、満足度の高い事業を提供できている。悪い意見として料金が高いとの声があったが、これはこどもの日の無料イベント実施時に、食堂のみ有料であったため、無料と思っていた参加者からの声だと推測される。誤解の無い表現方法など広報時に気を付けていきたい。
		・とても良い 63% (151票) ・良い 37% (87票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)		・とても良い 74% (230票) ・良い 26% (81票) ・悪い 0% (0票) ・とても悪い 0% (0票)		
1 受入事業	1. 受入事業	(満足度) 99%	(満足度) 90%	1. 受入事業	S	総合評価 96% 各事業とも参加者から高い総合評価を得られている。苦情などの意見もほぼ無かったことから、事業の趣旨、当日の流れなどがしっかりと調整できている成果である。プログラムだけでなく広報についても、関係団体の協力により充実してきているので、今後も、つながりを大切に、工夫改善に努めていく。
2 主催・自主事業	2. 主催・自主事業	満足度 99%	満足度 99%	2. 主催・自主事業		
総合評価(各評価項目の平均)	総合評価	満足度 99%	満足度 99%	総合評価		
※ 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(4段階評価の場合上位2段の割合)により算定するものとする。 ※ 「現状分析・課題」欄は具体的に記載すること。						

【評価基準(②満足度)】
 総合評価においては各評価項目の満足度の平均
 各評価項目においてはそれぞれの満足度
 S : 90%以上
 A : 80%以上、90%未満
 B : 70%以上、80%未満

II サービスの質の確認・評価 取組改善案	利用者アンケートよりサービスの満足度が全体的に高く、全体的に適切な対応ができている。広報の手法を見直しSNSの活用による利用者の増加に努めている。若い親世代からの問い合わせが増えている印象があるとのことである為、これまでリーチできていなかった層に体験機会を提供する足がかりとできるか今後の取組を注視したい。 また、今後の展望として、近隣市町村や社会教育関連団体、地域関連との連携型の事業を増やし、成人層の取り込みの強化や、教育協働の理念を実現するために社会教育側から学校教育関係従事者へアプローチできるような取り組みを検討していく予定であるとのことなので、そうした取組についても成果を期待する。
--------------------------	--

※各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和6年度)の主な取組改善案を記載すること。

III サービスの安定性評価(財務状況)

1 収支

(1) 収入

単位:千円

収入項目	令和4年度 実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	令和5年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)
計	470	440	440	973	207%	221%	
利用料金 収入							
宿泊室	281	263	263	803	286%	305%	
キャンプ場	0	0	0	0	—	—	
研修室及び訓練室	123	115	115	51	41%	44%	
プレイホール(体育館)	66	62	62	119	180%	192%	
指定管理料	42,809	42,809	42,809	42,809	100%	100%	
事業収入							
計	662	1,169	1,169	1,358	205%	116%	
主催事業収入	132	266	266	89	67%	33%	
自主事業収入	234	349	349	476	203%	136%	
その他(薪代・シーツ代等)	296	554	554	793	268%	143%	
その他収入(自販機電気料等)	75	82	82	144	192%	176%	
合計(A)	44,016	44,500	44,500	45,284	103%	102%	
〈現状分析・課題〉							
令和5年度は、12月より新館での供用が開始され、年度後半(12月から3月)にかけて利用者が急増した為、前年度比、事業計画比とも上回る事となった。施設改築により、体育館での球技利用の幅が広がった為、部活動団体等を中心に、今後も伸びが続くことが想定される。							

(2) 支出

単位:千円

支出項目	令和4年度 実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	令和5年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)
人件費	22,769	23,050	21,830	21,504	94%	93%	
賃金	0	600	470	336	#DIV/0!	56%	
報償費	214	200	200	151	71%	76%	
旅費	448	230	170	36	8%	16%	移転業務増のため研修停止
計	6,409	9,186	8,673	6,459	101%	70%	
需用費							
消耗品費	803	1,000	1,300	1,241	155%	124%	新館消耗品購入のため増額
燃料費	191	180	300	115	60%	64%	
印刷製本費	150	196	100	83	55%	42%	新館配布物未着手のため
光熱水費	4,100	7,500	6,763	4,902	120%	65%	
修繕料	1,160	300	200	113	10%	38%	
その他(食糧費等)	5	10	10	5	100%	50%	
計	997	1,231	2,072	1,919	192%	156%	
役務費							
通信運搬費	385	400	420	424	110%	106%	
手数料	384	480	1,380	1,238	322%	258%	樹木撤去費で増額
損害賠償保険料	159	126	126	124	78%	98%	
火災保険料	0	109	30	23	—	21%	新館トイレ・シャワー棟の新規加入
自動車保険料	69	116	116	110	159%	95%	
委託料	6,552	8,734	7,507	7,315	112%	84%	雨水遊水工事等で増額
使用料及び賃借料	678	1,950	1,400	1,012	149%	52%	
備品購入費	152	0	0	0	0%	—	
負担金	18	18	18	18	100%	100%	
間接経費	2,490	2,470	2,550	2,524	101%	102%	
公課費	2,166	2,600	2,300	2,223	103%	86%	
合計(B)	42,893	50,269	47,190	43,497	101%	87%	
〈現状分析・課題〉							
新館への移転に係る受入停止期間等を利用し、工事区画外エリアの高木剪定、トイレシャワー棟の雨水遊水工事等を指定管理料で実施する等、施設環境改善の為に支出を行っているが、全体としては、事業計画の9割程度の支出に抑えることができています。							

※「事業計画(当初)」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容を「事業計画(変更後)」に記載すること。

「計画比」は、「事業計画(当初)」と比較すること。「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2 経営分析指標

評価指標	令和4年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和5年度実績	前年比(%)	計画比(%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	1,123千円	-5,769千円	-2,690千円	1,787千円	159%	-31%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	2.6%	-13.0%	-6.0%	3.9%	155%	-30%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	1.1%	1.0%	1.0%	2.1%	201%	217%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	53.1%	45.9%	46.3%	49.4%	93%	108%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	15.3%	17.4%	15.9%	16.8%	110%	97%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	3,101円	1,436円	1,348円	2,900円	94%	202%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	3,094円	1,223円	0円	2,855円	92%	233%	
(現状分析・課題)							
<p>当初の事業計画では、収支が均衡していなかった為、次年度以降は改善を要する。しかしながら、新館移転に係る3ヶ月の受入停止期間中の光熱水費を低減できたことや、新館が電力のピーク時期後に閉館したことにより、基本料金が低額で済んだこと等の固定費が抑制される要因があったことから、光熱水費等の支出が抑えられ、事業収支をプラスにすることができた。次年度以降、新施設による環境の変化に対応できるよう細心の注意を払いながらの管理運営に努めていく必要がある。</p>							

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	A
-----------	---

【評価基準(③財務状況)】
 収益率(事業収支/収入合計)
 A: 0%以上
 B: -5%以上、0%未満

III サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	<p>新館移転により、光熱水費の増加が懸念される。新館には、電力のデマンド監視装置が導入されている為、常に館内の需要電力をモニターする等し、電気料金の節減に努めていただきたい。また、ボイラーの廃止によるガス利用量の増加も見込まれる。割高だった価格固定型から、変動型に契約変更する等、光熱水費の節減に継続的に取り組んでいただきたい。</p>
-----------------------------------	---

※各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和6年度)の主な取組み改善案を記載すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV 総合評価

1 目標

評価項目	評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	34,997人	35,568人	36,149人	36,739人	
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%	
財務指標	③財務状況	収益率	0%以上	0%以上	0%以上	0%以上	

2 評価結果

評価項目	評価指標	令和4年度実績	事業計画(目標値)	令和5年度実績	令和5年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和6年度目標値	
					前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	利用者数	34,997	14,997	108%	42.9%	3ヶ月の閉所期間があったが、前年度実績を超えている。旧館解体と裏門整備工事継続のなかで事業計画値の達成できるか課題である。	C (-10点)	体育館が新設されたことにより、部活動で利用する団体が増えており、今後もスポーツ利用での増加が予想される為、周知・広報を行い、利用増につなげていただきたい。	34,997	
	②満足度	満足度	90%	95%	100%	111%	職員の丁寧な接遇による電話対応、事前打合せ、受け入れを推進することで高い満足度となった。新施設に変わって特性を早期に把握できるか課題である。	S (20点)	施設の特性に合わせた利用法を、多角的に検討し、満足度の維持・向上を図っていただきたい。	90%	
財務指標	③財務状況	収益率	3.0%	6.4%	125.5%	213.3%	移転等による固定費の抑制等の外部要因が大きく影響していると考えられることから、新館の費用傾向を早期に判断できるかが課題である。	A (5点)	新館の環境に合った電気、ガス料金等の抑制策を多角的に検討・実施し、財務状況の健全性維持を図っていただきたい。	0%以上	
活動指標	④重点取組事項	施設が提供するプログラムの満足度	90%	98%	98%	109%	新館移転と裏門工事等にもない自然観察ビンゴ等の実施制限に対し残念な声があった。工事終了後に早期に新たなプログラムを提供できるかが課題である。	S (10点)	工事の進捗を踏まえながら新たな体験プログラムを開発し、さらに満足度を高めていただきたい。	98%以上	
総合評価		移転や工事の影響を受けている利用者数以外の項目は、概ね良好であることから、着実に管理運営ができていたものとする。引き続き利用者の安心安全と充実したプログラム提供のなかで、利用促進の取り組みを図っていただきたい。						A (25点)			

※重点取組事項の「評価指標」には、具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価」欄には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適切に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-I~IIIから転記する。

※「目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】**①利用状況**

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度

(各評価項目の平均値)

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

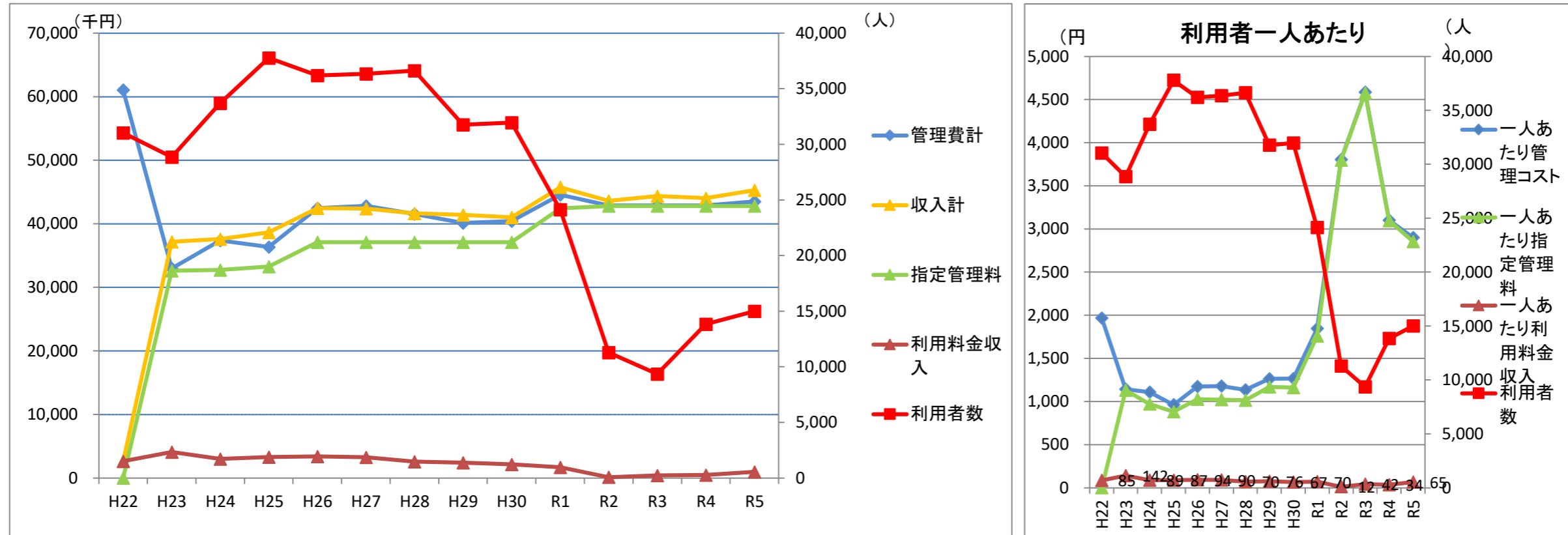
	総合評価基準
S	40点以上 <small>かつ各評価項目において C評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称:玉城青少年の家】

指標		単位	直営	指定管理①				指定管理②				指定管理③				指定管理④		
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
成果指標	利用者数	目標	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		実績	人	31,032	28,851	33,699	37,774	36,193	36,344	36,625	31,758	31,950	24,121	11,278	9,356	13,834	14,997	—
		目標比	%	—	—	—	—	—	—	—	—	99.0%	73.5%	33.8%	27.6%	40.2%	42.9%	—
		H22比	%	—	93%	109%	122%	117%	117%	118%	102%	103%	78%	36%	30%	45%	48%	—
財務指標	指定管理料	千円	0	32,617	32,726	33,272	37,111	37,111	37,111	37,111	37,111	42,420	42,809	42,809	42,809	42,809	—	
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%	0	98.9%	87.6%	91.6%	87.4%	86.7%	89.3%	92.5%	91.8%	95.2%	99.8%	99.8%	99.8%	98.4%	—	
	利用料金収入	千円	2,634	4,088	2,990	3,294	3,395	3,256	2,561	2,399	2,136	1,685	133	390	470	973	—	
	利用料金比率(利用料金収入/収入計)	%	100%	11.0%	8.0%	8.5%	8.0%	7.7%	6.1%	5.8%	5.2%	3.7%	0.3%	0.9%	1.1%	2.1%	—	
	収入計	千円	2,634	37,183	37,589	38,636	42,462	42,382	41,647	41,396	41,024	45,768	43,601	44,355	44,016	45,284	—	
	管理費計	千円	61,058	32,979	37,364	36,340	42,462	42,801	41,538	40,138	40,431	44,540	42,889	42,889	42,893	43,497	—	
	収支	千円	-58,424	4,204	225	2,296	0	-419	109	1,258	593	1,228	712	1,466	1,123	1,787	—	
	収益率(収支/収入計)	%	-2218.1%	11.3%	0.6%	5.9%	0.0%	-1.0%	0.3%	3.0%	1.4%	2.7%	1.6%	3.3%	2.6%	3.9%	—	
/単位	一人あたり管理コスト	円	1,968	1,143	1,109	962	1,173	1,178	1,134	1,264	1,265	1,847	3,803	4,584	3,101	2,900	—	
	一人あたり指定管理料	円	0	1,131	971	881	1,025	1,021	1,013	1,169	1,162	1,759	3,796	4,576	3,094	2,855	—	
	一人あたり利用料金収入	円	85	142	89	87	94	90	70	76	67	70	12	42	34	65	—	

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。

※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

R5年度	
R4年度	
R3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、利用者数及び利用料金収入の減
R2年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、利用者数及び利用料金収入の減